

平成29年11月22日（水）

【税を考える週間 記念講演会】

【場所】新潟市民プラザ

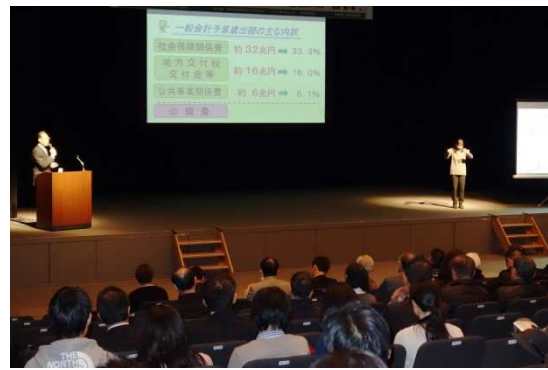
（NEXT 21 6階）



平成29年11月22日（水）午後1時45分より、新潟市中央区の新潟市民プラザにおいて「税を考える週間、記念講演会」が行われました。新潟税務署管内税務団体協議会の会長横山榮一氏から挨拶が述べられた後、第1部として新潟税務署長内山功氏により、「国税よもやま話」と題し約30分の講演が行われました。



内山氏からは、平成29年度の国の一般会計予算を例に国の歳入と歳出の現状や、消費税増税時の軽減税率の導入、国税庁の組織についてプロジェクターを駆使し、時にはクイズを交えながら大変分かりやすい説明がされました。



続いて第2部はテレビやラジオの報道番組で活躍中の経済ジャーナリスト須田慎一郎氏により「舞台裏から見た政治・経済～日本再生のために何が必要か～」と題し、講演が行われました。



「今の日本は国際社会での価格競争に勝ち残っていく必要がある。近年の円安に支えられ、輸出部門を中心とした大企業の利益は中小企業や地方、労働者に配分還元されているとは言い難い。その中で政治はアベノミクスから1億総活躍社会へと舵を切った。とりわけ働き方改革関連法案は注目すべきところであり、実質賃金の上昇による個人消費の拡大が今後の景気回復のキーポイントになる。」

須田氏の歯切れの良いトークに会場の参加者はぐんぐんと引き込まれていきました。あっという間の90分間、とても有意義な時間を過ごすことができました。